

科学探究科

育てたい3つの力

主体的に生きる力

自ら考え、判断し、行動する力

科学を探究する力

自ら課題を設定し、科学的手法を用いて解決する力

コミュニケーション能力

論理的に思考・判断・表現する力、英語力

特徴

● 英語、数学、理科では少人数授業を実施しています

生徒と生徒、生徒と教師、意見の交わり合いを重んじながら、探究活動の基本となる教科理解を深めています。

● 知識や技能を活用する場面が多く設定されています

新学習指導要領は、「知識や技能の習得」だけでなく、その「活用」を重視しています。科学探究科の各プログラムは、授業で習得した知識や技能を活用する絶好の機会です。物事を掘り下げ、多角的に考察する姿勢が自然と身についていきます。

● 「課題研究」と「海外科学研修」を軸にプログラムを展開し、生徒の力を育成します

すべての取組の中心に「課題研究」と「海外科学研修」を据えて各プログラムを実施します。各プログラムは相互に関連づけられており、実験や研修を振り返り、その意義について考える良い機会になります。

ISEPの取り組み（科学探究科）

高科学教育プログラム (Ichiko Science Educa-) の開発」～科学的リテラシーをもって解決困難人材の育成～ を目標に掲げて研究開発を進めて (～29年度) は科学探究科を対象に、第2期(平成は対象を普通科にも広げ、学校全体でSSHに取り

平成25年度に第1期SSHの指定を受けて以降、科学探究科の教育内容は従来に増して深化しています。様々な経験や挑戦が生徒を成長させ、多くの方々との出会いが生徒の視野を広げています。

● 探究プログラム I・II・III

学校設定科目

探究活動を通じて問題解決能力や科学的思考力(論理的思考力)や研究の手法を身に着けます。Iではミニ課題研究、IIでは課題研究に取り組み、実験を中心に活動します。(IIIは希望者のみ選択)



● Career Designプログラム I・II

総合的な探究の時間

大学での実習やフィールドワーク、講演等を通じて視野を広げ、自らの在り方・生き方について思考を深めます。科学を多角的に捉える力を養い。自身の進路についても考えます。



● 海外科学研修

海外の大学や研究施設などを訪問して世界に視野を広げます。現地の高校生とも交流します。

【令和元年度研修先】スタンフォード大学、ヨセミテ国立公園、カリフォルニア科学アカデミー、Lincoln High School



● Science English Communication I・II・III

学校設定科目

科学的な題材を扱いながら英語4技能をバランスよく育てます。年に数回、約10名のTeaching Assistant(静岡大学・静岡県立大学の理学部部に在籍する留学生)が生徒を支援します。

